



高ちゃん っうしん

大山たか子通信 2008.1 No. 24

市議会：087(839)2831

自宅：087(888)3272

eメール：takachan@mx1.netwave.or.jp

4-41°-5' http://www1.netwave.or.jp/~takachan/



今年もよろしくお願いたします!!

今年、十二支の最初に戻る子年で、新しくスタートを切ることから、原点に戻り、心新たに現場を徹底して回り、皆様からの多くのご意見をしっかり受け止め、生活向上のために一生懸命働いて参ります。公明党は、本来「政治は国民のためにある」と考えており、対決と反対のみ党利党略の覇権政治ではなく、人間主義の政治を進めていく為にとの一点でがんばっています。今年もどうかよろしくお願致します。



大西市長に「原油高騰対策に係る緊急要望書」を提出!



12月21日、高松市議会公明党議員会は、国レベルで原油高騰に苦しむ生活困窮者に対する特別交付税での灯油購入費補助対策が、公明党の強い要望で実現したことを受けて、高松市としても対策本部を設置し、是非とも生活者に根ざした施策を実現するように要望。

その後26日の市長記者会見で、急激な原油価格高騰の影響を受けている市内中小企業への金融面での支援策として、「原油価格高騰にかかる緊急経営安定対策特別融資」を1月4日から実施することを発表しました。これは四国県都では初の試みですが、今までの融資要件に、新たに、「原油高騰により、最近3ヶ月間の仕入高または費用が、直近3カ年の同時期と比較して10%以上増加していること」を加え、融資限度額は300万円となっています。また一つ、ネットワーク政党公明党の本領発揮で実現です!

水路整備で水害が解消



高松市西稲田町で、大雨等て山からくる大量の水を排出する水路整備がこのほど完了し、「これでもう水害の心配がなくなった」と住民の方に大変喜んでいただきました。

この地域は以前から比べると、山が産廃施設などの建設で地形に変化が生じ、水の流れ方が大きく変わり、大雨になると山から道に川のように水が流れてくるようになってしまいました。すぐ下で養鶏場を営んでいるKさんは、2004年の台風で数千羽の鶏が死んでしまうなど、2度大きな被害を受けています。この声を地域の党員さんから大山市会議員に何となくしてほしいとの要望があり、党員さんと連携を取りながら、市側に具体的な方法を明示し、その要望が叶い、見事水路の途中で、大量の水を排出できる弁を設置することになりました。



～12月代表質問の報告～

12月に初めて会派の代表で質問に立ちました(45分)多くの課題に必死に研鑽を重ねて臨みましたが、大変緊張しました!

- ①19年度の市税収納状況と今後の更なる収納対策の考え
- ②新たな受益者負担措置の考え
- ③新たな財源確保対策の考え
- ④予算等に関する公開を出来る限りわかりやすく公開することに対する考え
- ⑤市が作成した予算書等を学校現場で活用する考え

財政問題について

⑤一部の中学校では、市広報紙に掲載している「本市の財政状況」を授業の資料として活用しており、教育委員会としても、生徒にわかりやすい本市の財政資料等を活用した授業を、各学校に紹介し、生徒が地域社会への関心を高め、地方自治の発展に寄与しようとする意識を育むよう、一層授業内容の充実・改善を指導したい。

- ①受診率向上策
(土日でも受診できる体制・社会保険に加入している本人にも受診券の発行・受診料の低額化)
- ②未成年の喫煙率を0%にするという課題に対する取り組み
- ③専門性を持った相談員による相談窓口の設置
- ④20年度に普及啓発活動や受診率向上策を積極的に実施すること

がん対策について

- ①市の保健センターにおきまして、今回初めて来年2月10日に日曜日に、乳がんと子宮がんの検診を予定している。この受診状況を踏まえ、来年度以降の保健センターでの土日を含めた検診の実施体制を検討したい。社会保険加入者の本人への受診券発行は、より多くの市民に受診機会を提供するため、個別検診受診券の送付対象者を拡大することは有効であり、検討していきたい。
- ④新年度に、これまでの取り組みに加え、がん撲滅のためのキャンペーンの一環として、本市主催でがん予防シンポジウムを開催し、検診の重要性やがん予防に対する意識啓発を図りたい。

- ①新生児の全戸訪問実施のための対策
- ②新生児聴覚検査導入
- ③健診受診率向上策
- ④視能訓練士による高精度屈折異常測定器での眼科健診を導入するなど検査の必要性

乳幼児健診について

- ①今後、多くの保護者が利用しやすい方法について検討するとともに、関係団体の協力も得る中で、市内全ての乳児がいる家庭の訪問に対応できるよう努めていきたい。

- ①発達障害に関する研修会を更に充実させ知識のレベルアップを図る考え
- ②発達障害者支援体制整備事業を継続する考え
- ③就学前からの情報を共有化して、一人ひとり子供にあった教育指導体制の考え
- ④発達段階に対応した総合的な発達障害者支援体制を整備する考え

発達障害児支援について

- ④本市では、現在、総合的な支援窓口を香川こだま学園に設置し、教育、保健、医療、福祉等の関係者との連絡調整も行っているところですが、今後とも、国の動向を見守りながら、県とも協議の上、発達障害者の支援の継続と支援体制の整備に努めていきたい。

- ①病院事業の今後の改革プラン策定のスケジュール
- ②改革プランと基本構想との整合性
- ③高松市民病院の一般会計からの繰入金基準設定の必要性
- ④職員一人一人の経営意識を持った意識改革

市立病院について

- ①市民病院と香川病院の統合および塩江病院の附属施設化を前提として、新しい市立病院の基本構想を策定していきたいと考えている。各病院の改革プランは、この基本構想の策定に伴わせ、整合性を図りながら作成をしていきたい。
- ④今後、それぞれの病院の実態を踏まえ、予算の基礎としている、病床稼働率などの積算数値はもとより、担当部署ごとに数値目標を掲げ、その達成を目指す「目標管理システム」の導入を検討するなど、職員の意識改革により、一層の経営改善に努めたい。

- ①中央教育審議会の審議のまとめの所見
- ②子ども農山漁村交流プロジェクト事業の豊かな体験活動推進事業の取り組み

学校教育について

- ②来年度実施される都市の取り組み状況などを踏まえ、関係部署と連携を図る中で、今後研究していきたい。

- ①児童・生徒を加害者、被害者にならないための講習会など教職員、児童・生徒、保護者の立場での実施状況と対策
- ②市全体の犯罪防止対策の考え

インターネット被害対策について

- ①学校だけでは限界があり、保護者の理解と協力を得ることが不可欠でありますから、PTA連絡協議会等とも連携し、保護者に有害情報の遮断サービスの必要性を啓発するなど、より一層、対策の強化に努めていきたい。

- ①どのような理念を持って運営をしているのか。また、どのような役割があると考えているのか。
- ②学校との連携を密にして、小学生を招待する考え
- ③入場料を安価にし、無料の幅を広げる考え
- ④中央商店街と連携

今後の美術館のあり方について

- ②小学生を美術館へ招待したり、観覧料を安価にし、無料の幅を広げることにつきましては、現在、美術館のあり方について検討をしている「美術館のあり方検討委員会」におきまして、学校教育との連携等様々な意見をいただいておりますことから、その提言等を踏まえ、検討していきたい。

ご存知ですか？



子宮がん・乳がん検診の受診券の再発行について



高松市では、社会保険加入の本人以外の方々へ、子宮がんは20歳以上、乳がんは40歳以上の2歳ごとに受診券が送られていきます。その際、その年度の期間中に検診が様々なご事情で受診できなかった方は、次年度でも、保健センターに連絡を入れていただくと、再発行されます。是非、自分の身は自分で守るの思いで、がん検診を受けていきましょ。 連絡先：保健センター TEL 839-2363